



Team石川



小中一貫CSだより第53号 令和2年8月25日 文責：千葉 敦
めざす子ども像(15歳の姿)：将来への憧れ・夢・希望・目標をもち、意欲的に学習に取り組み、自分の考えや想いを豊かに表現できる生徒

石川小・中学校合同研修会 小中一貫教育研究協議会 開催

8月19日(水)に、石川小・中学校合同研修会と、小中一貫教育研究協議会が開催されました。

午前中は、中学校のコンピュータールームで合同研修会を行いました。石川小・中学校では、年に2回、小中共通の課題について、合同で職員の研修会を開いています。今回は、石川小・中学校両方でスクールカウンセラーを勤めている松本敏治先生を迎え、「こどもを見る、自分を知る」というテーマで講義をしていただきました。



今回の講義では、「こどもたちを見る」ための手立てとしてゲームなどの活用のしかたや、「自分を知る」ことで自己肯定感を高めるための教師側のスキルを、具体的な例を挙げて紹介していただきました。2学期以降の教育活動にすぐに活かせる、とても有意義な研修でした。



松本先生は特別支援教育が専門で、「自閉症は津軽弁を話さない」という本を著作した方としても有名です。こどもの成長や子育てで悩んでいる方へ丁寧にカウンセリングしますので、ぜひ活用してください。興味がある方は、日時等の詳細を小・中学校それぞれへご確認ください。

午後には、今年度第2回目の小中一貫教育研究協議会が、中学校を会場に開催されました。今回は、教科を中心に文系、理系、技能系の大きく3つの分科会で、「小中一貫教育(校舎併設型)の実現に向けて」というテーマで研究協議を進めました。各部会とも、令和6年度の新校舎完成・校舎併設型小中学校のスタートに向けて、熱心で具体的な話し合いがなされたようです。各部会での協議内容を総合すると、学習技能を鍛え、表現力を高め、思いやりの心を深めることが大事で、そのためには「お互いを知り、寄り添う」ことが必要だということになりました。これを実現するために、今後も小中一貫教育研究協議会を大事にしていくことを確認しました。



今回は、石川小・中学校の教職員が同じ目標(15歳の姿)に向かって協働で取り組んでいる様子を、紹介しました。

石川小・中学校等複合施設整備事業

7月30日(木)に行われた説明会で、事業の基本構想が発表されましたので概要を報告します。

(1) 整備条件

- 石川小学校については、校舎は新築、既存のものは解体する。また屋内運動上は既存のものを引き続き使用する。
- 石川中学校については、校舎、屋内運動場は新築し、既存のものは解体する。また武道場は、剣道場2面を確保できる広さのものを新築し、既存のものは解体する。
- グラウンドについては、児童生徒が屋外で遊べる環境を整備する。また児童・生徒の安全確保が図られるような設備の設置や配置とする。
- 公民館、出張所、児童館等については、校舎と一体型とする。また動線や敷地の有効活用、工事費用を考慮し、なるべく施設の共用化を図る。

(2) 整備の基本方針

「地域とともにある学校づくり」のモデルケースとなるよう、7項目を設定する。

- ①小中一貫教育の円滑な学校運営 ②安全安心に利用できる施設 ③地域コミュニティの拠点
- ④社会情勢の変化に対応できる機能 ⑤ユニバーサルデザイン、防災機能
- ⑥環境負荷、維持管理コストの低減 ⑦自然との共生、健康かつ安全な施設環境

(3) 今後のスケジュール

- 令和2年11月までに、プロポーザル方式により設計者を決定する。
決定に際しては、学校関係者や地域住民の意見を反映させる仕組みにする。
- 令和2年～3年 設計業務、地質調査
- 令和4年～5年 新築工事、グラウンド等整備
- 令和6年 工事完了 供用開始

今後、着々と整備事業が進んでいきます。随時、進捗状況を報告します。ご質問・ご意見等ありましたら、いつでも小・中学校へ連絡くださるようお願いいたします。

石川小・中学校合同PTA環境整備 実施



8月23日(日)午前7時より、小・中学校PTAが合同で環境整備を行いました。蒸し暑い中、草取り、側溝の泥あげ、通学路のゴミ拾いなどの作業に取り組み、すっきりした環境で2学期をスタートすることができました。ご協力いただいた保護者のみなさま、ありがとうございました。